



会 報

第 13 号

東北大学教育学部
同窓会仙台支部

教育学部の還暦にあたって

教育学研究科長・教育学部長 宮 腰 英 一

9月に入り、秋の気配が漂って参りました。皆様にはお変わりなくお過ごしのことと拝察致します。本年4月から教育学研究科長・教育学部長を務めております。何卒宜しくお願い申し上げます。同窓会仙台支部の皆様には、学部運営に対して日頃から格別のご厚情、ご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、教育学部は昭和24年に創設され、本年度還暦を迎えることになりました。これまでの学位授与数からみて、学士6,298名（ちなみに大学院では修士976名、課程博113名、論博121名です。）を世に送り出してきました。

10年前に学部創立50周年を盛大に祝って頂きましたが、その後の10年は大激動の年月でした。平成10年度の大講座化に引き続き、平成12年度の大学院重点化整備で、それまでの旧専攻が改組された結果、専攻を単位とする同窓会組織の多くは解散に追い込まれました。

50周年を期に卒業生名簿を作成して、教育学部同窓会の組織整備を図ってきましたが、今日の同窓会活動は仙台、関東、北海道の各支部を中心に展開されています。大学としては、教育学部同窓会から大学院生が海外学会発表の渡航費のご援助頂き、優れた研究成果をあげることができるようになり、感謝致しております。また昨年、卒

業生名簿の更新作業を進めて参りましたが、個人情報秘匿の壁などで捗らず、難航しています。

平成16年度からの国立大学法人のスタートで国内外の大学や部局間競争が激化しており、教育学部としてこれまで以上に同窓生の皆様のお力添えを賜りたく切に願う次第です。こうしたなかで教育学部の還暦を契機に、同窓生相互の交流と親睦を深めると共に学部の実情を良く知って頂き、同窓生と教職員・在学生の絆を一層強固にするために、10月10日に同窓会総会と創立60周年記念行事を開催致すことになりました。皆様にはふるってご出席下さいます様をお願い申し上げます。

平成21年度 総会のご案内

平成21年度の東北大学教育学部同窓会仙台支部の総会を下記のとおり行います。皆様お誘い合わせの上、ふるってご参加ください。

記

1. 日 時 平成21年10月4日(日) 午後1時
2. 会 場 ホテルコムズ 仙台
(旧三井アーバンホテル仙台)
3. 内 容 ①総 会
②記念講演 講師 小野寺淑行教授
③懇 談 会

創立60周年記念行事について

創立60周年記念行事実行委員会委員長
上埜 高志 (教育学研究科教授)

教育学部同窓会の皆さまのご支援により、昭和24年、東北大学に本学部が創設されて以来、本年をもちまして創立60周年を迎えることができました。平成11年には同窓会のご協力を得て、創立50周年記念行事を盛大に開催しましたことは、記憶に新しいことです。その後の10年間は、大学院重点化、国立大学法人化など、文字どおり教育学部にとっては激動の時代でした。そこで、来る10月10日(土)、創立60周年記念行事を川内南(文科系)キャンパスにおいて開催いたします。内容は、記念式典、記念講演会、記念祝賀会を予定しております。

記念講演会は、若井彌一・上越教育大学長より「教育と教育学の振り返りと展望」のテーマで講演いただけることになっております。

会場としては、記念式典と記念祝賀会は文科系総合研究棟1号館大会議室(11階)、記念講演会は中講義棟文学部第1講義室(文教大講義室)を予定しています。同研究棟は川内南(文科系)キャンパスでもっとも背の高い建物で最上階の11階からは仙台の街並みが眼下に一望できます。

また、記念行事に先立ち、教育学部同窓会総会が予定されております。

卒業生の皆さまには、創立60周年記念行事・同窓会総会にお誘いのうえ、ご参集いただければ幸いです。くわしくは、教育学部ホームページをご覧ください。くわしくは、教育学部ホームページをご覧ください。くわしくは、教育学部ホームページをご覧ください。

なお、10月10日(土)・11日(日)には、東北大学が全学的なイベントとして、大学創立100周年の平成19年より、「ホームカミングデイ」と称し卒業生の皆さまと在校生・教職員が交流する場を設けており、その内容は大学ホームページに掲載されておりますので、あわせてご参照ください。

出会いのたのしみ

理事 佐藤 陽二 (27年入学)

初めての出会いも、しばらく振りに会う場合でも、人の出会いは色々と楽しみがある。時には、気がすすまないこともあるが、出会いは緊張感もあり、情報を得たり、学ぶことが多い。話題が意外な方に発展したり、忘れたことを思い出すこともある。

人間以外の物ごととの出会いも楽しみである。歳を重ねても、学生時代のことは忘れにくい。中でも、部活の思い出は多い。

北七番丁に通い初めた頃、初対面の先輩から、茶道部に誘われた。守衛の宿直室が茶室で、週1回、師範時代からの先生が来られた。やがて家庭科の教室が部室になり、毎日のように通った。一服のお茶を点てるのに、30分も正座するのは大変だった。順番にお点前が続くので、時間が経つのも忘れる。丹六の雑菓子を食べながらでも、まずいお茶を何杯も飲むのは辛かった。高坂先生から習うことが多かった。先生は和服で来られる。蝶ネクタイとは違う親しみを感じた。「ドイツ語より上手だね」と皮肉られたこともある。奥松島や山寺など、郊外に出かけたり、会席やゲームも楽しかった。「心茶会」の集まりは今でも続いている。

スキー部も楽しかった。海鋒先生のおかげで、志賀高原のスキー教室に参加させてもらった。片平丁に通うようになって、スキー部に入った。4年時に、鳴子でインカレがあり、川渡農場の合宿所まで、線路を歩いたこともある。スキー部の活動は温泉地が多いので、座学も楽しかった。蔵王にヒュッテもできたが、スキー部は遠征が多い。数年前、スキー部創設五十周年記念で、懐かしい再会があった。「萩雪会」の集いは毎年ある。

スキー関係の出会いは、就職してからも色々と続いた。

出会いは前向きに楽しみたいものである。

たかくら たけし 高倉 健 氏の偉業

理事 桂島 新一 (28年入学)

第58回 河北文化賞 平成20年度



高倉氏は左から二人め

平成21年1月、教育哲学専攻・高倉健氏は、河北文化賞に輝きました。河北文化賞とは、河北新聞社の東北最大の賞であり、今までに、中川善之助、加藤陸奥雄、芹沢長介、佐藤忠良、杉村惇たちが受賞しております。

高倉健君の略歴を紹介しますが、評価されたのは、自らの作陶活動と工芸家の指導育成という2本の柱です。

昭和33年 東北大教育学部教育科学科、教育史、教育哲学専攻卒業。

昭和37年 県名取高校に陶芸クラブ創設

昭和49年 日展に初出品初入選 題「樹氷」

(以後平成8年まで20回入選)

昭和50年 宮城県教育文化功労者表彰

昭和54年 宮城県芸術選奨を受賞

平成10年 宮城県芸術協会の理事長に就任

平成14年 宮城県芸術選奨選考委員会委員長

平成14年 仙台市政功労者表彰

平成16年 文部科学大臣表彰を受賞

陶芸との出会いは、東北大学生時代「窯の中で器が炎に包まれる神秘の世界に魅せられた」と高倉健氏は回想しています。人生を決めていく青年の教育を、改めて重く受け止めております。

教員として学び続ける ことの意味について

事務局 吉川 邦彦 (50年入学)

夜間定時制高校に勤めていたとき、五十歳半ばの私より、年上の高校生がいた。夜遅く、彼女が図書館で数学の教科書を開いて熱心に勉強しているのを見ると、私は胸が熱くなった。すでに子育ても終わり、生活も安定している職業婦人である。大検も合格していると聞いた。「なぜ人は学び続けるのだろう」と、このとき深く考えた。

最近、学校は多忙を極めている。国・県の施策が増えたというよりは、学校外からの要望が多くなったためだと思う。これまで学校は、独自性を保ちつつ生徒の要望に応じていけばよかったが、そうはいかなくなった。学校評議員制にせよ学校評価にせよ、地域住民などから教員が評価されるのである。また、授業が成立しない学級をみせてもらった時、今まで所与のものと考えていたことが成立しなくなったという思いを強くした。教師-生徒間に、教える-学ぶという関係を生み出すため-から学級を作り直せということなのだと考えた。さらに、学校において一つだけの答えを見つめるのが困難になっている。確かに、根拠となる法規や国・県の基準はあるが、一律に答えられることは、まずない。新型インフルエンザで生徒への対応を決める場合も、それを決めた後にくる保護者からのクレーム対応にしても、日々状況が異なり違う判断と説明を求められている。

このように、多忙化が進み、困難で多様な判断が求められ、当たり前とっていたことを学校が見直す必要がある時代こそ、われわれ教員は学び続けるべきなのだと思う。受験した管理職試験も、合格のためだけに学んでいるのではないはずだ。教員としての矜持とは、自分の心を磨き、言葉を磨き、いつ何時でも教えられるよう、生涯前向きに生涯学び続けることなのだと、最近つくづく思うようになった。

仙台支部役員名簿

(平成20. 7. 26～平成22. 11. 30)

顧問	32 修藤井 黎	大学	宮腰 英一
	26 佐々木一洋	28	永野 昌一
	31 雪江 美久		
支部長	36 岡崎 忠		
副支部長	36 阿部 琢也	39	軍司 啓
参与	24 岩淵昌次郎	24	富塚 英雄
"	29 石森 幸子	31	柘澤 怜
"	32 佐々木亀三男	33	佐藤 健仁
"	35 伊藤 昭	39	大浪 榮一
"	元科長 菅井 邦明	元科長	菊池 武剋
"	同 荒井 克弘	同	細川 徹
理事	24 丸谷慶二郎		
"	25 高橋 公正	25	菊池 康雄
"	25 静田 一		
"	26 三橋 亮一	26	池田 和夫
"	27 佐藤 陽二	27	青木 敏浩
"	28 小関 幸生	28	桂島 新一
"	29 青木 寛敏	29	星 博
"	30 小野 正義	30	小端 博之
"	31 楨 要照	31	今野 健
"	31 菅原 教雄		
"	32 砂金 信男		
"	33 金岡 昭房	33	小高 幸子
"	34 伊藤 静男	34	河野 好郎
"	35 泉 豊	35	岡本 幸子
"	36 正木 競	36	川村 幸安
"	37 菊田 泰丸	37	小倉 英樹
"	38 桜井 正幸		
"	39 渡邊 宜隆	39	菊地 光輝
"	41 安住 裕	48	桜田 博
"	51 日下 毅	52	白澤 利広
"	54 南城 一之	57	川上 芳夫
"	H4 吉植 庄栄		
監事	25 佐藤 寿郎	博52	笹田 博通
大学理事	博H9 神谷 哲司		
事務局	37 関口 隆	50	別府 成裕
	52 吉川 邦彦		
会計	33 斎藤 良子	39	朴沢 徳昭
"	37 佐藤 勝子		

事務局だより

下記のように委員会を構成し、それぞれ活動を展開しております。

会則検討委員会

委員長	31 柘澤 怜
副委員長	31 今野 健
委員	25 静田 一
"	37 菊田 泰丸

名簿作成委員会

委員長	33 金岡 昭房		
副委員長	35 泉 豊		
委員	25 高橋 公正	29	青木 寛敏
"	30 小野 正義	31	菅原 教雄

会報発行委員会

委員長	27 青木 敏浩		
副委員長	39 渡邊 宜隆		
委員	25 菊池 康雄	26	池田 和夫
"	32 佐々木亀三男	34	河野 好郎

会計委員会

委員長	29 石森 幸子		
副委員長	39 朴澤 徳昭		
委員	33 斎藤 良子	37	佐藤 勝子

<行事予定>

- 6月27日(土) 第1回役員会
- 9月5日(土) 第2回役員会
- 10月4日(日) 第30回仙台支部総会
- 1月9日(土) 第3回役員会

◎会報13号をお届けいたします。ご多用の中、ご執筆いただきました皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

事務局(連絡先)

〒982-0807

仙台市太白区八木山南3-14-13

関口 隆 TEL 244-2091

※カットは柘澤 怜氏(31年入学)